

Yahoo! JAPAN、インテージ共同調査 「会社は誰のものか!?!」 ～ 「株主のもの」派と「社員のもの」派が拮抗 ～

2005年6月22日

ヤフー株式会社
株式会社インテージ

Yahoo! JAPAN、インテージ共同調査 「会社は誰のものか!?!」

～ 「株主のもの」派と「社員のもの」派が拮抗 ～

「Yahoo!リサーチ」のアドレス：<http://research.yahoo.co.jp/>

Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社と株式会社インテージは共同で、「Yahoo!リサーチ・モニター」の20歳以上60歳未満の全国の男女を対象に、6月8日（水）から6月10日（金）にかけて、会社の所有と経営のあり方に関するアンケートを実施しました。

<調査の概要>

調査期間： 2005年6月8日（水）～6月10日（金）

調査対象： Yahoo!リサーチ・モニター

調査方法： ウェブ上でのアンケート調査

回答者数： 544名（男性－271名、女性－273名）、株保有者－194名（保有率35.7%）

世代別構成比： 20代－25.4%、30代－23.5%、40代－25.4%、50代－25.7%

<集計結果>

- ◆ 「『会社』は誰のものだと思いますか？」と聞いたところ、「株主」（31.6%）と「社員」（25.2%）という回答が拮抗しました。次いで、「代表取締役」（15.6%）、「社会全体」（15.3%）の順でした。
- ◆ 「『会社』はどのような存在だと思いますか？」と聞いたところ、「株主に支配されるお金儲けのための『モノ』」（7.7%）、「会社資産を保有する『ヒト』の集団」（35.5%）、「その両方」（31.1%）との回答でした。会社を「モノ」としてのみとらえている人は少ないことがわかりました。

- ◆ 株による会社支配に対する考え方を聞いたところ、「資本主義において当然のことである」（48.9%）、「マネーゲームのようで違和感がある」（33.6%）と回答が分かれました。
- ◆ 「株主に対する経営責任を負っているのは、誰だと考えますか？」の問いに対して、「取締役会全員」、もしくは「代表取締役」と回答した人は合計で、全回答者の75.0%を占め、「社長」（8.3%）とは責任範囲を区別して認識していることがわかりました。
- ◆ 「あなたにとって『企業価値』とは何ですか？」との問いに対しては、「時価総額」（22.1%）、よりも「企業への共感の度合い」（54.2%）とする回答が上回りました。
- ◆ 現在、株を保有している人に聞いたところ、株主への利益の還元については、79.4%が「十分でない」と回答しました。また、株主総会へは、15.5%が出席すると回答しました。出席の理由（複数回答）としては、「経営状態について理解を深めるため」（50.0%）、「どのようなものか体験するため」（34.4%）、欠席の理由（複数回答）としては、「時間や地理的な制約があるため」（67.1%）、「葉書やインターネットで議決権を行使できれば、それで十分だと思うため」（39.0%）などがあがりました。

アンケート結果の詳細は下記のとおりです。

質問1：一般的に「会社」は誰のものだとあなたは考えますか？

株主（31.6%）
社員（25.2%）
代表取締役（15.6%）
社会全体（15.3%）
社長（7.4%）
その他（4.9%）

質問2：一般的に「会社」とはどのような存在だとあなたは考えますか？

株主に支配されるお金儲けのための「モノ」（7.7%）
会社資産を保有する「ヒト」の集団（35.5%）
その両方（31.1%）
どちらでもない（10.1%）
どちらともいえない/よくわからない（15.6%）

質問3：株による会社支配について、どう考えますか？以下の中でお気持ちに近いものを選びください。

資本主義において当然のことである（48.9%）
マネーゲームのようで違和感がある（33.6%）
どちらともいえない/よくわからない（17.5%）

質問4：株主に対する経営責任を負っているのは、誰だとあなたは考えますか？

取締役会全員（41.0%）
代表取締役（34.0%）
社長（8.3%）
株主（5.9%）
社員（3.7%）
その他（0.5%）
よくわからない（6.6%）

質問5：あなたにとって「企業価値」とは何ですか？

時価総額（22.1%）
企業への共感の度合い（54.2%）
どちらともいえない/よくわからない（23.7%）

質問6：株主として、企業のどのような側面を重視して投資判断をしていますか？（株保有者のみに質問、複数回答）

1位 収益性（84.0%）
2位 知的財産の保有（ブランド価値含む）（38.7%）
3位 経営陣の能力（30.4%）
4位 社会的責任（CSR）（23.2%）
5位 リスク管理（17.0%）
6位 社員の能力（14.4%）
6位 環境対応（14.4%）

質問7：株主への利益の還元は十分だと思いますか？複数の銘柄をお持ちの場合は全体としての印象をお答えください。（株保有者のみに質問）

はい（20.6％）

いいえ（79.4％）

質問8：あなたは、招集されている株主総会に出席しますか？複数社の株主総会に招集され、1社でも参加の場合は「はい」をお選びください。（株保有者のみに質問）

はい（15.5％）

いいえ（84.5％）

質問9：質問8で「はい」と答えた人にお聞きし、質問10：質問8で「いいえ」と答えた人にお聞きます。その理由をお答えください。（複数回答）

1位 経営状態について理解を深めるため（50.0％）

2位 どのようなものか体験するため（34.4％）

3位 経営を監視する役割を果たすため（31.3％）

4位 経営陣に対して質問をするため（15.6％）

1位 時間や地理的な制約があって、行けないため（67.1％）

2位 葉書やインターネットで議決権を行使できれば、それで十分だと思うため（39.0％）

3位 子どもや家族の制約があって、行けないため（8.5％）

【Yahoo! JAPAN】 <http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部、銘柄コード：4689、本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役：井上雅博）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約3942万人のユニークカスタマー数※と、1日10億3000万ページビューのアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティ、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。Yahoo!のグローバルウェブネットワークは、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アジアなど世界25の国と地域で展開しています。

※2005年5月のNielsen//NetRatings「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率85.7％、職場からの視聴率86.0％というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約4600万人（NetRatings Japan「インターネット基礎調査」より）としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ（市場名：JASDAQ、銘柄コード：4326、本社：東京都西東京市、設立年月日：1960年3月2日、代表取締役社長：田下憲雄）は、時代に先駆けてマーケティングの重要性を認識し、1960年に設立された日本のリサーチ会社のパイオニアです。以来40年以上にわたり、各種情報収集網の拡充、データ処理体制の確立、独自の分析ツールの開発など、「リサーチ」と「システム」の二つの領域で高度な技術とノウハウをもって、顧客の経営の意思決定に関わる「価値ある情報＝インテリジェンス」を提供しています。

【Yahoo! リサーチ】 <http://research.yahoo.co.jp/>

「Yahoo!リサーチ」は、約40万人のモニター会員を持つ、さまざまな市場調査を実施する法人

向けインターネット調査サービスで、インテージとYahoo! JAPANが共同で設立した株式会社 インテージ・インタラクティブ（本社：東京都東久留米市、代表者：長崎貴裕）が運営しています。モニター会員はインターネットユーザーの約8割がアクセスするYahoo! JAPANから集められているので、母集団の代表性に優れています。また、年齢、性別、職業、業種、年収、家族構成など50項目にのぼる属性データを持っており、目的に応じた属性でのインターネット調査がスピーディーに実施できる仕組みとなっています。